

はじめに

教員間で情報を共有し協力して生徒の指導にあたり、高校生活のよいスタートを切らせたいと思います。光塩生として「まわりに喜びと光をまく生徒」を目指すために、私たち教職員の役割は何かという事を真剣に考える1年にしていきます。そのために、週1回の学年会を実施し、計画的に生徒との面談を設定し、丁寧な指導を心がけます。

また、家庭との連絡を密にすることで、信頼関係の構築に努めます。自己を他者にひらいてかかわる力や態度を養う人間関係作りをさせていきます。

1 主体性を身に付け、互いに認め合い、高め合う集団を育てる

- ・行事やボランティア活動に積極的に取り組む
- ・コミュニケーションの取り方を考える
(あいさつ、言葉遣い、伝え合う力、SNS、スマートフォンの使い方)
- ・授業などで自分の考えを整理し、伝える力を養う
- ・思いやりのある言動を身に付けさせる

この学校で学ぶことの意味を考える場面を多く設定し、3年間で何ができるかを考えさせるサポートをします。そのために教員からの指示で動くのではなく、自分たちで考えて行動する力を探究の時間を中心に身に付けさせます。

光塩に入学してよかったと思えるよう、生徒同士が積極的にかかわりをもてるよう必要に応じてサポートし、コミュニケーション能力の向上をめざします。生徒の様子をよく観察し、声かけをしていきます。また、ボランティアの意義を詳しく伝え、主体的に参加させる中で、互いのよさを認め合う集団を育てます。人がやるからではなく、自分から積極的に物事に取り組める環境作りや、グループ学習での話し合いの際に、他者を認め、それぞれの考えを伝え合うためのスキルを身に付けさせます。

2 基本的生活習慣の確立～高校生として、光塩生として品位と責任ある言動を身に付けさせる

- ・服装・言葉遣いなどTPOを意識する
- ・環境整備（普段から自分の持ち物の整理整頓、掃除・移動教室時の身の回りの整備）に努める
- ・学習規律の確立や雰囲気作り

学校内だけでなく学校外でも自分たちのよさを認めてもらえるような生徒をめざし、本校のきまりをしっかり把握させます。何かあったときには、すぐに相談できる雰囲気作りに努め、自分勝手な解釈で判断しないように指導します。また、メモの利用や教室掲示の工夫をし、提出期限を守る習慣をつけさせます。

3 確かな学力の向上～主体的に学ぶ力を育てる

- ・見通しを立てて計画的に学習する（漢字テストと英単テストにも本気で取り組む）
- ・プレゼンテーション能力を養い、高める
- ・進路について具体的に考える

基礎学力の定着を図るために、授業や面談などで計画的に学習することの意義を伝え、生徒が目標に向かって取り組める雰囲気を作っていきます。そのために早い段階から面談を重ね進路実現に向けた準備をさせると同時に教科担当や教育相談と連携を密に取り、学習面において不安や悩みをもっている生徒への対応をしっかりとしていきます。また、相手への伝え方や話し方について意識させ、探究の時間等を通して、プレゼンテーション能力を高めさせていきます。